

5つの特性で未経験者にアプローチ 性格に応じた投資行動の促進策

投

投資未経験者への効果的な動機づけに当たっては、

個人の性格特性に則した介入が必要との指摘がある。本リポートでは投資未経験者を対象に、パーソナリティの測定方法の1つであるBig five（人間の性格を外向性、協調性、勤勉性、神経症傾向、開放性の5つの特性で把握）と投資行動との関連を分析・考察している。

投資口座開設状況（①投資をしようと思ったこと・検討したことはない【投資未検討】、②検討したが実際には手続きをしなかった【投資検討】、③手続きを開始したが途中でやめてしまった【口座開設・手続き開始】、④開設したが投資していない【口座開設・手続き完了】、⑤実際に投資した【投資実施】の5区分）ごとにBig fiveとの関連を分析すると、①投資未検討×開放性、③口座開設・手続き開始×協調性、同×外向性、④口座開設・手続き完了×勤勉性の4つで有意差が見

られ（1%水準）、投資行動につながりやすいことがわかった。

これらの結果について考察した。「①投資未検討×開放性」層……開放性の高い人は知的好奇心が強く、何らかのきっかけで興味関心を喚起できれば投資実施まで至る確率が高まるのではないか。「③口座開設・手続き開始×協調性」層……協調性の高い人は人を信頼する力が強く、身近な人の投資体験談などから投資への前向きな気持ち醸成されやすい。「④口座開設・手続き完了×勤勉性」層……勤勉性が低い人に対しては、自身で調べなくても商品選択ができるように商品選択時のコツや考え方などの情報提供が必要と思われる。

このほか、本リポートでは性格特性に応じた投資促進のメッセージの有効性についても分析している。各金融機関においてはこれらの調査結果を、投資未経験者に対する投資行動の促進につなげることが期待される。

三菱UFJ信託銀行「投資未経験者の性格特性と投資行動の関連について」（2023年10月26日）
MUFG資産形成研究所 研究員 増田祐子、監修：パパラカ研究所 代表取締役社長 山根承子